

令和8年度アウトリーチ型家庭教育支援研修実施要項

1 趣 旨

各市町の家庭教育支援チームや家庭教育支援に携わる関係者に対し、アウトリーチ型支援に対応した研修を実施し、家庭教育支援者としての資質・能力の向上を図る。

2 主 催

広島県教育委員会（広島県立生涯学習センター）

3 ねらい

家庭教育支援を充実させるために、家庭教育支援者としての資質の向上を図る。

- ・現代の家庭を取り巻く現状と課題を理解することができる。
- ・事例発表や意見交流などにより様々な家庭教育支援の実際について知ることができる。
- ・支援が必要な人に支援や情報を届けることについて、自市町の実態に応じて考えることができる。

4 対象、定員

(1) 対 象

ア 家庭教育支援チーム・家庭教育支援に携わる関係者

例：親プロファシリテーター、読み聞かせボランティア、放課後子供教室支援員 等

イ 市町の生涯学習振興・社会教育行政関係職員等

例：生涯学習振興・社会教育行政担当課職員、社会教育主事、生涯学習センター職員、公民館・公民館類似施設（コミュニティセンター等）・その他の社会教育施設職員

(2) 定 員

40人程度

5 実施方法

対面及びオンライン

6 研修会場

広島県情報プラザ 視聴覚研修室（広島市中区千田町三丁目7番47号）

7 日程・内容

令和8年9月11日（金）13:25～16:30【受付・ログイン13:00～】

日時	内容	講師等
13:25～13:40	オリエンテーション・アイスブレイク	
13:40～13:55	【説明】 家庭教育支援の現状と課題 説明を通して、次の項目について理解します。 ・今、求められている家庭教育支援 ・支援者に期待される役割	広島県立生涯学習センター 社会教育主事
13:55～15:05	【講義】 「主観的幸福感が高まる子育て支援の在り方」 主観的幸福感が高まる子育て支援の在り方について講義を聴き、自市町での家庭教育支援の取組について考えます。	安田女子大学看護学部看護学科 教授 津間 文子
15:05～15:15	休憩	
15:15～16:20	【事例発表・意見交流】 「家庭と地域のつなぎ役」 事例発表において、家庭教育支援の実際について知り、自市町での家庭教育支援の取組について考えます。	秋田県男鹿市家庭教育支援チーム 代表 小玉 由紀

